

富士川義之・玉井暲・河内恵子編『オスカー・ワイルドの世界』（開文社、平成 25 年 5 月）

佐々木隆「日本におけるワイルド文献史—増田・島村・本間のワイルド受容」  
pp.274-287

「1 プロローグ」「2 増田藤之助抄訳「美術の個人主義」」「3 島村抱月」「4 本間久雄」「5 エピローグ」の順で論じた。日本におけるワイルド受容は増田・島村・本間が『社会主義下の人間の魂』『虚言の衰退』『獄中記』を出発点にしていることがわかる。これはワイルドの芸術観を捉えていることになろう。